

経営比較分析表（平成30年度決算）

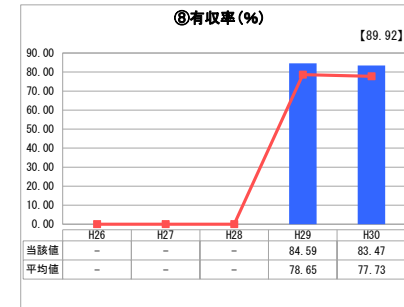
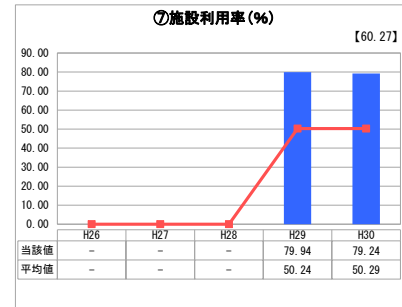
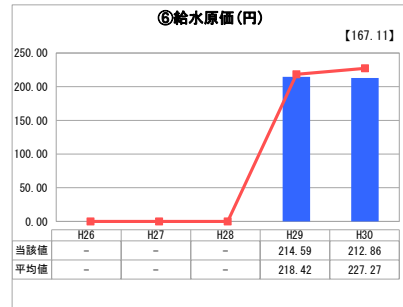
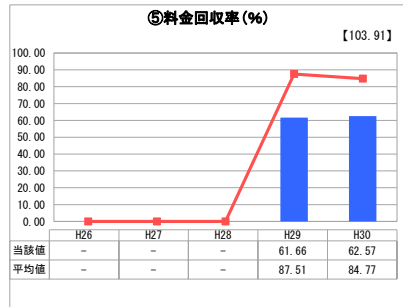
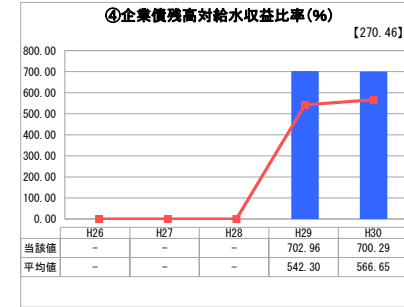
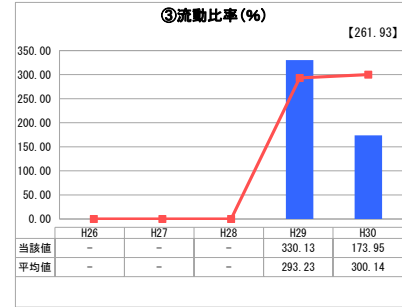
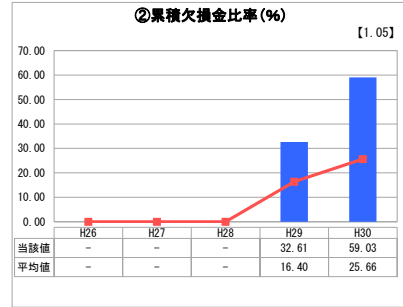
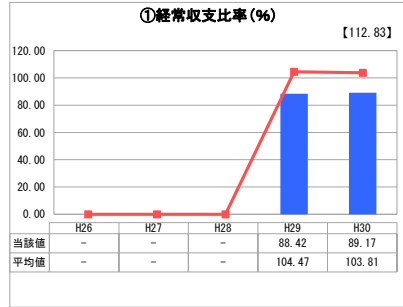
三重県 度会町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	73.15	99.85	2,800	

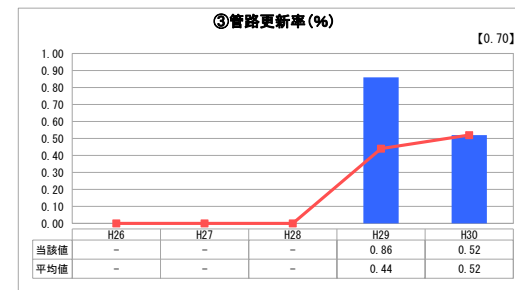
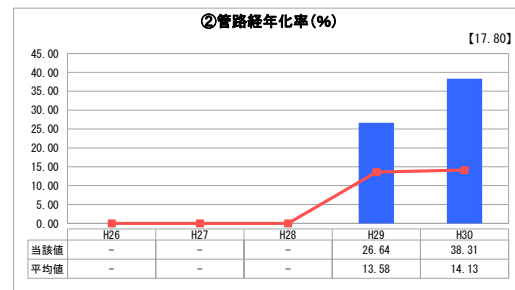
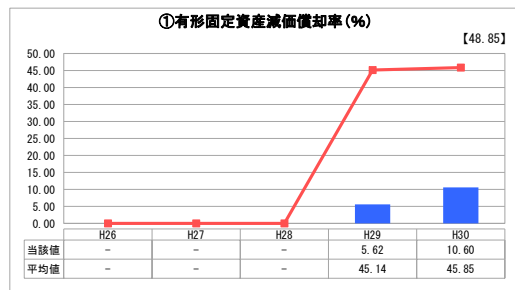
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,272	134.98	61.28
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
8,211	21.70	378.39

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当町の経常収支比率は89.17%と100%未満で、水道料金を平成24年度の改定から据置していることが主原因であることから、早急に改定に取り組む必要がある。

累積欠損金比率と企業債残高対給水収益比率については水道料金を平成24年度の改定から据置していることと平成23年度～平成27年度の統合整備事業で多額の費用投資を行った結果、減価償却費が総費用の54.69%を占め、この間の投資財源として企業債を9億円借入れたことにより数値が悪化した。

料金回収率及び供給単価は上記と同じ理由で横ばいであるのに、給水原価は施設維持等の経費とも高止まりとなっており、経費削減に苦慮している。

施設利用率は類似団体平均値を上回っているものの、年々低下傾向にあり、人口の減少による配水量の減が大きき要因となっていると思われる。

有収量は漏水調査を随時実施し、早期の修繕に努めていることもあり、どうか高い効率性を維持している。

2. 老朽化の状況について

当町の管路は全延長の70%以上が昭和50年度～昭和57年度の水道拡張期に整備されていることから、経年率は類似団体平均値の倍もあり、早急に安定した管の更新・耐震化を維持できるよう、その財源確保や経営に取り組む必要がある。

全体総括

当町の経常収支比率、累積欠損金比率、企業債残高対給水収益比率、料金回収率は、類似団体平均値及び全国平均より数値が劣っている。これは、平成24年度以降、水道料金を据置していることと平成23年度～平成27年度の統合整備事業に多額の費用を投資した後に上水道事業に移行したことによる。施設の耐震化、管路の更新・耐震化に向け、平成31年度に策定する経営戦略に基づき、あらゆる面で費用削減を図るとともに計画的に料金改定を実施し財源確保に努めていかなければならない。